

まちづくり評価

【IV 教育分野】

江 南 市


まちづくり評価シート

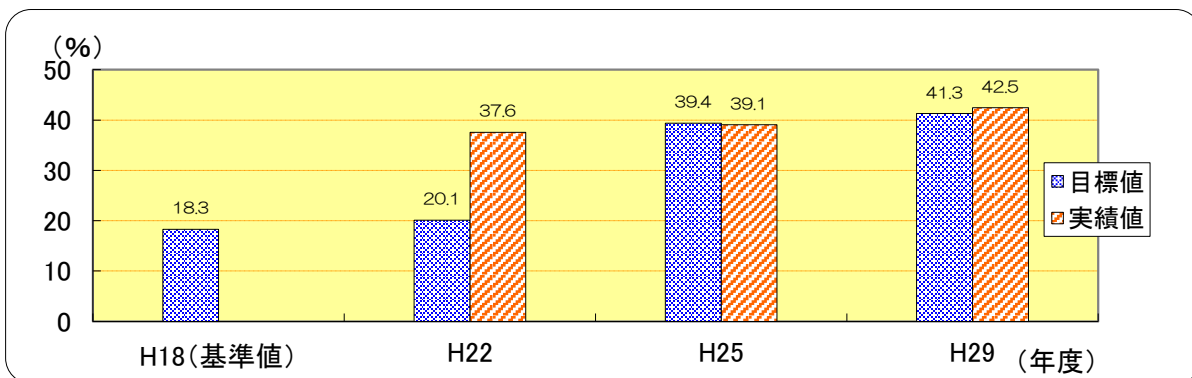
教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

教育課【担う柱:1 地域に開かれた快適で安全な学校づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 学校・家庭・地域との関わりの中で、児童・生徒が自ら学ぶ力をもち、心豊かにいきいきと育っている




指標名	学校・家庭・地域の協力により、子ども一人ひとりに学力、体力、社会性、人間性が身についていると感じる市民の割合			
	単位	H18 (基準値)	H29	実績値の分析 学校補助教員や特別支援学級等支援職員を配置し、少人数指導やチームティーチングを実施することにより、児童・生徒が個々の学習状況にあった、きめ細かな指導や支援を行うことができた。また、学校施設や設備の整備、校舎の改修工事やプールの改修工事を実施したことにより、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組むことができた。平成29年4月に実施した、市民満足度調査結果は42.5%となり、達成状況は晴れマークで、目標を達成することができた。一方地域の人にあいさつする児童・生徒の割合は微増に止まり、目標値を達成できなかった。また、登校前に朝食を食べている児童・生徒の割合は低くなっており、正しい食習慣を身につけ健康に育つように、食育指導にも一層力を入れ、今後も達成率を向上できるように努めていく。
目標値	%	—	41.3	
実績値		18.3	42.5	
達成率	%	—	102.9	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価

平成29年4月に実施した市民満足度調査結果は42.5%となり、目標を達成することができた。しかし、地域の人にあいさつする児童・生徒の割合や、登校前に朝食を食べている児童・生徒の割合は依然として改善が必要であり、今後も学校・地域・家庭が連携し、子どもたちの社会性、人間性を育てていく取り組みをしていただきたい。学校は一般的に閉鎖的になりやすいので、学校運営協議会の設置を推進し、学校・家庭・地域が力を合わせて学校運営に取り組む「地域とともにある学校づくり」を進めていただきたい。

個別目標① 児童・生徒が心身共に健康な状態で、適切な教育を受けている

指標名	学校が好き、授業が楽しいと感じている児童・生徒の割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・学校補助教員配置事業 ・養護教諭配置事業 ・英語指導助手(ALT)配置事業 ・就学指導事業
目標値	%	—	95.0	96.0	98.0	100.0	
実績値		85	82.9	84.4	85.3		
達成率	%	—	87.3	87.9	87.0		
達成状況	—	—					

取り組みの状況

市民	保護者等は、学校からの情報提供や教育相談により、子どもの興味や発達状況に合った教育を受けさせた。
市役所	少人数指導やチームティーチングの実施により、児童生徒が個々の学習状況にあった指導や支援を受けられる体制をとった。

指標名 特別支援学級等支援職員配置人数							
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	15	16	18	20	・特別支援学級等支援職員配置事業
実績値		8	17	17	19		
達成率		%	—	113.3	106.3	105.6	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	一宮児童相談センター、一宮東特別支援学校、市役所(子育て支援課)などの関係機関との交流や情報を確認しつつ、家庭での学習や正しい生活習慣を身につけた。
市役所	情緒障害、多動性障害等の児童生徒の教育支援を行ったことにより、教育内容を高めることができた。

目標達成のための今後の展開方針
補助教員の配置については、各学校の学級数により、適正な職員配置を図っていく必要がある。教員一人ひとりの授業力向上を図るため、教師力向上セミナー等を利用し、指導助言を行う必要がある。特別支援学級等支援職員や養護教諭の配置については、学校の実情を調査しながら、適正な配置を図っていく必要がある。

個別目標に対するまちづくり評価
発達障害のある児童生徒の教育ニーズにきめ細かく応え、授業を正常に運営するため支援職員の増員が必要であるので、この点についての検討をさらに進めていただきたい。

個別目標② 学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの社会性、人間性がはぐくまれている

指標名 地域の人にあいさつする児童・生徒の割合							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	94.0	96.0	98.0	100.0	・生徒指導推進事業
実績値		80.2	82.9	84.2	83.9		
達成率		%	—	88.2	87.7	85.6	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	地域の子どもたちに目を向け、非行に走らないように声かけをしたり、あいさつを交わしたりしながら、互いの信頼関係を築いた。
市役所	啓発・情報交換・実践活動等により、中学校区を単位として学校・家庭・地域が連携を図り、非行防止等を啓発した。

指標名 職場体験学習生徒受け入れ延べ事業所数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	事業所	—	330	340	350	360	・生徒進路指導事業
実績値		273	371	310	298		
達成率		%	—	112.4	91.2	85.1	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	事業所は積極的に職場体験学習の生徒を受け入れた。
市役所	生徒自身の生き方について職場体験、啓発的体験を得ることにより、生徒が進路を主体的に考え、選択する能力の育成を図った。

指標名		地域の行事に積極的に参加している児童・生徒の割合					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	89.0	93.0	97.0	100.0	・学校評議員事業 ・コミュニティ・スクール事業 ・総合学習推進事業
実績値		69.5	78.2	77.9	79.8		
達成率	%	—	87.9	83.8	82.3		
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	地域の人々が気軽に訪問し、学校に対して情報等を提供するような学校づくりを支援した。
市役所	「地域とともにある学校づくりを進めるため、小中学校5校に学校運営協議会推進委員会を設置し、学校運営協議会の設置に向け研究することができた。

目標達成のための今後の展開方針	
<p>学校・家庭・地域との連携を密にし、学校教育の推進を図る。 ハローワーク・商工会議所等関係機関とさらに連携を密にして、受け入れ事業所の拡大を図る。 各地域の実情に応じて、「地域とともにある学校づくりを進める学校運営協議会の設置を検討していく。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>学校は一般的に閉鎖的になりやすいので、学校運営協議会の設置を推進し、学校・家庭・地域が力を合わせて学校運営に取り組む「地域とともにある学校づくりを進めていただきたい。</p>	

個別目標③ バランスのとれた給食や食育の実施により、子どもたちが正しい食習慣を身につけ健康に育っている

指標名		学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合【小学校】					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	99.0	99.2	99.4	99.5	・食育事業 ・給食企画事業
実績値		98.3	90.4	89.4	90.2		
達成率	%	—	91.3	90.1	90.7		
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	食生活に関し、児童・PTA・保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき、地域交流が図れる。
市役所	小学校へ、給食時間に訪問し、食育指導を実施した。また、ティームティーチング授業においても食育指導を実施した。

指標名 学校給食がおいしいと感じる児童・生徒の割合【中学校】							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	99.0	99.2	99.4	99.5	・食育事業 ・給食企画事業
実績値		95.7	81.3	79.4	82.3		
達成率		—	82.1	80.0	82.8		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	食生活に関し、生徒、PTA・保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき、地域交流が図れる。						
市役所	中学校へ、給食時間に訪問し、食育指導を実施した。また、チームティーチング授業においても食育指導を実施した。						

指標名 登校前に朝食を食べている児童・生徒の割合【小学校】							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	・食育事業 ・給食企画事業
実績値		92.7	96.0	88.8	87.4		
達成率		—	96.0	88.8	87.4		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	食生活に関し、児童・PTA・保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき、地域交流が図れる。						
市役所	小学校へ、給食時間に訪問し、食育指導を実施した。また、チームティーチング授業においても食育指導を実施した。						

指標名 登校前に朝食を食べている児童・生徒の割合【中学校】							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	98.0	98.4	98.8	99.0	・食育事業 ・給食企画事業
実績値		86.2	93.8	82.8	83.6		
達成率		—	95.7	84.1	84.6		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	食生活に関し、生徒・PTA・保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病を地域へPRでき、地域交流が図れる。						
市役所	中学校へ、給食時間に訪問し、食育指導を実施した。また、チームティーチング授業においても食育指導を実施した。						


指標名 学校給食における地場産物の割合							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	39.0	41.0	43.0	45.0	・食育事業 ・給食用物資購入事業
実績値		20.0	40.3	35.7	35.2		
達成率		—	103.3	87.1	81.9		
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	献立に沿って安価で栄養バランスに富んだ地域農産物を含めた食材を、学校からホームページなどで発信することによって毎日の給食の内容が地域の方へも伝わり給食の理解が深まる。
市役所	給食センター運営委員会を開催し、年間給食実施計画、物資納入業者の選定を行った。献立作成委員会を開催し、献立に沿って安価で栄養バランスに富んだ食材や、地域農産物を含めた物資を物資選定委員会で協議し選定をした。




目標達成のための今後の展開方針
校長・教諭・PTAの各代表及び栄養教諭・学校栄養職員で、より安価で良質、かつ安全な食材を選定し、栄養教諭・学校栄養職員の献立素案を基に、全小中学校の給食担当教諭と協議する。 望ましい食生活について、効果的・効率的に児童・生徒に指導し、PTAの試食会等を通して偏食による肥満や、生活習慣病について講義する。

個別目標に対するまちづくり評価
望ましい食生活に関し、児童・生徒及び保護者への指導のみでなく、学校を発信源として、肥満などの生活習慣病を地域へPR活動することで、地域交流が図れるよう努めていただきたい。

個別目標④ 教育を受ける環境が整備され、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組んでいる

指標名	学校施設や設備が整備され、快適で安全な教育環境の中で、児童・生徒が学習していると思う市民の割合						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	49.7	50.7	51.5	52.5	<ul style="list-style-type: none"> ・教材整備事業 ・学校管理運営事業 ・学校施設管理事業 ・学校用地事業 ・学校施設整備事業
実績値		28.3	—	—	—	49.7	
達成率	%	—	—	—	—	94.7	
達成状況	—	—	—	—	—		

取り組みの状況	
市民	児童・生徒及びPTA並びに地域住民の清掃活動等により、学校施設及び周辺の美化環境が保持できた。
市役所	給水、電気、昇降機を始めとする各種学校設備の保守点検を行うとともに、普通教室の不足により臨時校舎の借り上げをした。また、予算の範囲内で必要な箇所の修繕・工事を実施した。

指標名	学校施設の耐震化率						
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	100.0	100.0	100.0	100.0	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎等耐震補強事業
実績値		61.8	100.0	100.0	100.0		
達成率	%	—	100.0	100.0	100.0		
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	学校施設の大規模工事において発生する学習環境や施設利用での不都合を理解し、円滑な工事の進捗に協力した。
市役所	耐震診断結果に基づき、各小中学校の校舎及び体育館の耐震補強工事を実施し、耐震化が完了した。また、非構造部材について、業者委託による点検を行った。

目標達成のための今後の展開方針

平成30年度は中学校の教育用コンピュータの更新や、校務用コンピュータの一部更新があるため、各学校と連携を図りながら整備計画を立て、各種備品の整備や情報環境に対応していく必要がある。
学校施設整備として、余裕教室の有効利用を検討する。
国の交付金等の動向に注視しつつ、校舎の改造等を計画的に実施する。

個別目標に対するまちづくり評価

非構造部材の耐震化への早期対策や、校舎の改造及びプールの改築・改修に対し、長期的な計画を立てていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

中学校区を単位として、啓発・情報交換・実践活動等を学校・家庭・地域が連携を図り、非行防止等の活動が実施され、即座の対応が図られた。
職場体験等を実施した結果、その経験により生徒が自分自身で進路の選択する能力の育成を図ることができた。
地域の中の学校として、学校・家庭・地域が一体となった情報の共有が図られた。
食生活に関し、児童・生徒及び保護者への指導のみでなく、学校を中心として発信することにより、肥満などの生活習慣病などの理解を深めることができた。

◆柱全体の今後の課題

学校だけでの対応は困難な状況であるため、地域との連携が不可欠である。
職場体験学習において、関係機関とさらに連携を密にして、職場体験学習の受け入れ事業所の拡大を図る必要がある。
学校運営協議会を設置し、地域とともにある学校づくりを推進しなければならない。
安価で良質かつ安全な食材を選定する。また、食育や望ましい食生活について、指導のみでなく、地域へのPRも必要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

学校・家庭・地域との連携を密にし、学校教育の推進を図る。
職場体験学習の実施においては、ハローワーク・商工会議所等関係機関とさらに連携を密にして、職場体験学習の受け入れ事業所の拡大を図る。
各小中学校において学校運営協議会の設置を推進する。
食育や望ましい食生活について、児童・生徒に指導するとともに、PTAの試食会等を通して地域へのPRを行う。


まちづくり評価シート

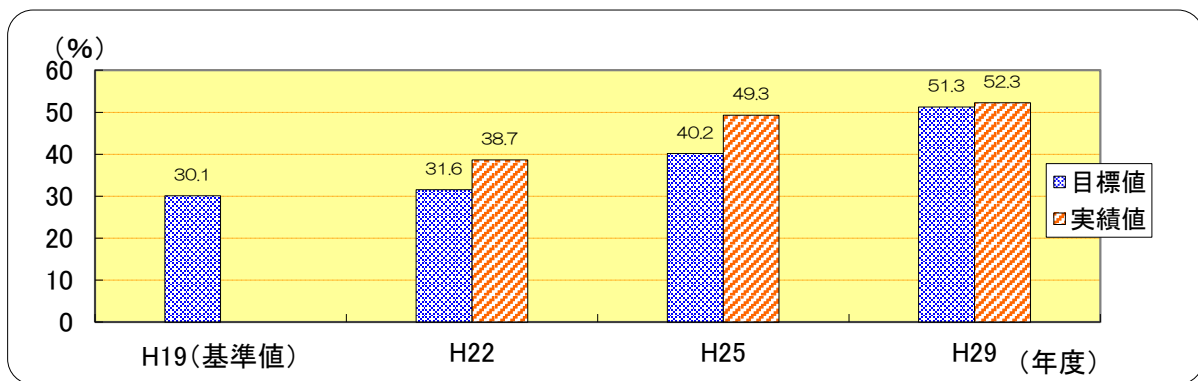
教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

教育課【担う柱:2 将来にわたって活躍できる人づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況


全体目標 良好な教育環境が構築され、青少年の健全な育成が図られている

指標名	青少年が健全に育成されていると感じる市民の割合			
	単位	H19 (基準値)	H29	実績値の分析
目標値	%	—	51.3	教育委員会会議の定期的な開催、教育現場の訪問、他都市との意見交換などを通じて、情報を収集し、教育課題に迅速に対応したことにより、望む教育を受ける環境が整っていると感じる市民の割合はほぼ目標を達成することができた。このため、平成29年4月に実施した市民満足度調査結果は52.3%となり、達成状況は晴れマークで、目標値を上回ることができた。一方、不登校の児童・生徒の割合は高く、児童・生徒の心の悩みやいじめ不登校問題は大きな課題となっている。
実績値		30.1	52.3	
達成率	%	—	101.9	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価
 平成29年4月に実施した市民満足度調査結果は52.3%となり、達成状況としては目標値を上回っている。しかし、不登校の児童・生徒の割合は高く、児童・生徒の心の悩みやいじめ不登校問題は大きな課題であるため、学校・家庭・地域が協力して取り組むよう努めていただきたい。

個別目標① 地域社会が教育に関心をもち、望む教育を受ける環境が整っている

指標名	子どもから大人までの教育環境が整っていると感じる市民の割合						
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	38.0	40.0	42.0	45.0	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会運営事業 ・教育調査事業 ・教育文化振興基金積立事業 ・表彰事業 ・横田教育文化振興事業
実績値		35.0	—	—	—	46.5	
達成率	%	—	—	—	—	103.3	
達成状況	—	—	—	—	—		

取り組みの状況	
市民	教育委員会会議録、教育基本方針、教育委員会の点検評価等を市ホームページで閲覧することなどにより、教育的・文化的な教養の向上に努めた。
市役所	教育委員会会議を年間15回開催し、教育現場を訪問するなどして、教育の場を構築し、教育課題等諸問題について、迅速に対応した。また、文化的教養の向上又は教育的効果が認められたものに、榮譽を称え広く市民に知らせた。

目標達成のための今後の展開方針

市民の要望など地域に密着した教育行政を推進する。


個別目標に対するまちづくり評価

市民が気軽に学校を訪問できるような環境づくりを進めてほしい。
学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換会に積極的に参加してほしい。

個別目標② 子どもが健やかに育つ環境が整い、人間性豊かな子どもたちが育っている

指標名 不登校の児童・生徒数の割合【小学校】							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	0.2	0.2	0.1	0.1	<ul style="list-style-type: none"> 心の教室相談員配置事業 適応指導教室事業 いじめ・不登校対策事業
実績値		0.5	0.7	0.9	0.67		
達成率	%	—	28.6	22.2	14.9		
達成状況	—	—	↑	↑	↑		
取り組みの状況							
市民	心の悩みなどを自分ひとりで抱え込まず、専門の相談員に相談した。 いじめ不登校対策協議会にて、いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究した。						
市役所	各小学校に心の教室相談員を配置し、生徒の悩みなどの相談を受けた。 不登校生徒のために、適応指導教室を開設し、指導・支援を行った。 いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究、検討し実践に活かした。						

指標名 不登校の児童・生徒数の割合【中学校】							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	2.0	1.8	1.6	1.5	<ul style="list-style-type: none"> 心の教室相談員配置事業 適応指導教室事業 いじめ・不登校対策事業
実績値		4.5	4.0	4.0	4.78		
達成率	%	—	50.0	45.0	33.5		
達成状況	—	—	↑	↑	↑		
取り組みの状況							
市民	心の悩みなどを自分ひとりで抱え込まず、専門の相談員に相談した。 いじめ不登校対策協議会にて、いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究した。						
市役所	各中学校に心の教室相談員を配置し、生徒の悩みなどの相談を受けた。 不登校生徒のために、適応指導教室を開設し、指導・支援を行った。 いじめ・不登校問題を総合的、根本的に研究、検討し実践に活かした。						

指標名 家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると感じる市民の割合							
	単位	H19 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	54.5	55.0	56.0	57.0	<ul style="list-style-type: none"> ことばの教室事業 放課後子どもプラン事業 青少年問題協議会事業 少年センター事業 青少年健全育成推進事業 青少年健全育成啓発事業 青少年教育事業 地域学習活動支援事業
実績値		51.5	—	—	—	60.2	
達成率	%	—	—	—	—	105.6	
達成状況	—	—	—	—	—		

取り組みの状況

市民	布袋小学校、宮田小学校、古知野南小学校、藤里小学校、古知野西小学校、門弟山小学校の「放課後子ども教室」に参加した。 青少年問題協議会で、青少年育成の基本方針を決定した。また青少年健全育成のために、街頭啓発を行い、講演会に参加した。 「こども土曜塾」において小学校4～6年生の希望者が参加した。 「こども未来塾」において、中学校1年生の希望者が参加した。
市役所	小学校の余裕教室や体育館を利用して「放課後子ども教室」と「学童保育」を総合的に実施した。 青少年の指導・育成等に関する調査・審議を行い、青少年育成の基本方針を決定した。また、少年相談窓口を開設し、街頭補導を実施した。青少年健全育成のために、街頭啓発、講演会を実施した。 児童に対し、基本的な学力の定着を図るため、地域に在住している退職教職員等の支援を得て「こども土曜塾」及び「こども未来塾」を実施した。

目標達成のための今後の展開方針

いじめ不登校対策として、適応指導教室「You・輝」、少年センターを開設し、小中学校に心の教室相談員を配置するなど、児童生徒が相談しやすい体制を整え、安心して学校生活を送ることができるようにする。
安全で健やかな活動場所を確保するため、放課後子ども教室と学童保育の一体化や連携した取り組みに努める。
地域学習活動としての「こども土曜塾」及び「こども未来塾」を継続実施する。

個別目標に対するまちづくり評価

子どもたちが心の悩みなどを自分ひとりで抱え込まず、気軽に相談できるような環境づくりをさらに進めていただきたい。
ボランティア活動や体験活動の情報を提供し、青少年の社会性、人間性の育成に努めるとともに、放課後の子どもたちの健全な居場所づくりを確保するため、放課後子ども教室と学童保育の充実とさらなる連携の促進を図っていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

教育現場の意見に基づいた議論を行うために、学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換をした。教育委員会会議においては、教育の課題・施策等について、教育委員会委員と積極的に審議し意見交換をした。

◆柱全体の今後の課題

学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換に積極的に参加し、教育現場の現状や課題を的確に把握する。平成20年4月から教育委員会会議の内容を市ホームページで公開しているが、今後も情報公開を積極的に進めていく必要がある。
心の悩みを抱える児童・生徒やいじめ不登校問題は大きな課題であり、学校・家庭・地域が協力して取り組む必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

学校・家庭・地域が連携し、地域住民の要望・意見等を取り入れながら、地域ぐるみで教育行政を推進し、社会に貢献できる人材を育む。

まちづくり評価シート

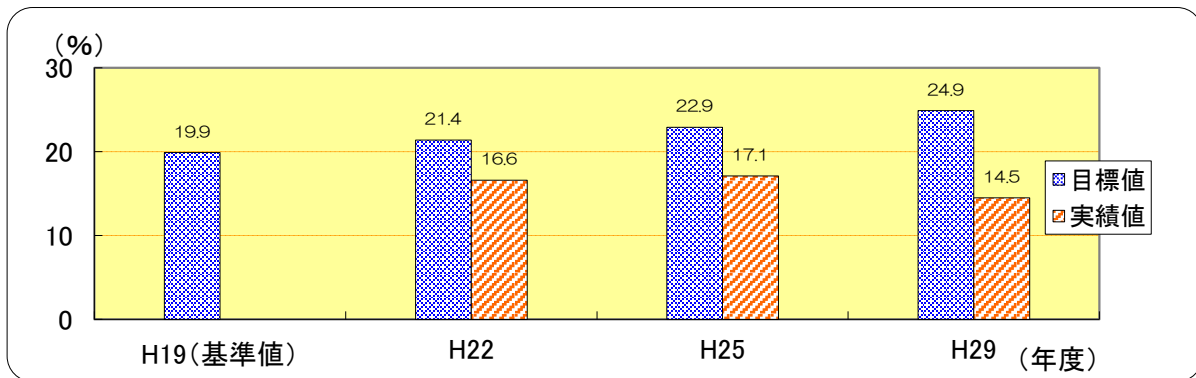
教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

生涯学習課【担う柱:3 生涯を通して能力を伸ばし、活かせる機会づくり】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 市民が生涯にわたって学習し、その能力を発揮する環境が整っている

指標名	生涯学習活動に参加している市民の割合			実績値の分析
	単位	H19 (基準値)	H29	
目標値	%	—	24.9	平成29年4月に実施した市民満足度調査結果は実績値が14.5%となり、平成25年の実績値の17.1%と比較すると2.6ポイント減っている。いずれも年齢層が60歳以上の方が多く、新しく生涯学習活動に参加する現役世代の加入が少ない状況となっている。そうした世代は、仕事や子育てが中心の生活を送っており、生涯学習活動への参加につながっていないことから、目標値に達成できていないと考えられる。
実績値		19.9	14.5	
達成率	—	58.2		
達成状況	—	—	↑	



全体目標に対するまちづくり評価

生涯学習活動への意識や参加は、年齢層や生活スタイルによって大きく異なると思われる。60歳以上の高齢者は、現役世代と比べ時間に余裕もあり、自身の生涯学習活動への意識が高い。一方で現役世代は、仕事や子育てが生活の中心となり、時間に余裕がもたない状況と思われる。生涯学習に対する市民満足度の高い行政を行うには、引き続き高齢者が参加して生きがいづくりに寄与する事業を行うとともに、土、日曜日等に行う公民館講座など、若者や勤労世代でも参加しやすい講座を一層企画していただきたい。

個別目標① 市民が、自発的な学習活動を展開し、生きがいをもった生活を送っている

指標名	生涯学習講師人材バンク登録者数						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	人	—	165	170	175	185	・企画運営事業
実績値		126	141	146	139		
達成率		—	85.5	85.9	79.4		
達成状況	—	—	☺	☺	☺		

取り組みの状況

市民	PTA活動、子ども会活動などの行事において、生涯学習人材バンクを利用し、講師を依頼した。
市役所	広報こうなんや市ホームページによる啓発活動や公民館サークルへの登録依頼を行った。生涯学習人材バンクの一覧を作成し、学校・公民館・子育て支援センターなどへ配布した。




指標名 愛知江南短期大学と連携した講座の受講者数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	2,190	2,230	2,270	2,310	・成人教育事業
実績値		2,011	1,348	1,423	1,371		
達成率		%	—	61.6	63.8	60.4	
達成状況	—	—	↑	↑	↑		
取り組みの状況							
市民	市と愛知江南短期大学が連携した公開講演会、オープンカレッジに参加した。						
市役所	愛知江南短期大学と連携し、オープンカレッジの開催に向けての準備を行い、公開講演会等を開催した。						




指標名 一人当たりの図書等の貸出点数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	冊	—	5.1	5.5	5.9	6.4	・図書館管理運営事業
実績値		3.3	3.9	4.1	4.0		
達成率		%	—	76.5	74.5	67.8	
達成状況	—	—	☁	☁	↑		
取り組みの状況							
市民	インターネットや利用者端末を利用し、図書の検索を行い貸し出しを受けた。図書館主催の読み聞かせ会、手作り絵本教室、菜の花プロジェクト等に参加した。						
市役所	市の施設において配本・返却サービスを実施し、利用者の利便性の向上を図った。						




目標達成のための今後の展開方針	
<p>人材バンクの活用をより活発なものにするため、市民だけでなく学校や団体等にも呼びかけて幅広い人材を確保する。また、市ホームページに登録講師の氏名、講座内容を掲載し、市民に対する周知を図り、利用の促進に努める。</p> <p>公開講演会への参加を呼びかけるため、広報こうなんや市ホームページだけでなく、新聞への掲載や市の施設以外の多くの市民が集まる場所へのチラシの配布などを行う。</p> <p>図書館の利便性向上について、指定管理者との情報交換を行いながら、市民ニーズの把握に努める。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>各種団体に積極的にPRなどを行い、多様なニーズに対応できる講師の人材確保に努めていただきたい。また、人材の確保とともに、市民が幅広く人材バンクを利用することができるように、わかりやすい周知に努めていただきたい。</p> <p>公開講演会等の参加者を増やすため、愛知江南短期大学との連携により、積極的に開催をPRしていただきたい。</p> <p>ボランティアによる読み聞かせなどで、多くの集客を得ていることは評価できる。さらに、ボランティア同士の連携を図り、市民ニーズの把握やサービス向上に努めていただきたい。</p>	

個別目標② 市民が身近にスポーツを楽しみ、なれ親しんでいる

指標名		屋内のスポーツ施設の稼働率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	90.0	90.0	90.0	90.0	・体育施設等維持管理事業
実績値		84.1	88.4	87.2	87.3		
達成率		—	98.2	96.9	97.0		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	各加盟競技団体(屋内競技)が行う市民スポーツ祭や定期的な練習を、体育会館競技場など屋内スポーツ施設で実施した。						
市役所	市民スポーツ祭などの情報を、広報こうなん等に掲載して啓発に努めた。また、スポーツ人口を増やすため、各種体験教室や会員募集などの情報も広報こうなん等に掲載して啓発に努めた。						

指標名		屋外のスポーツ施設の稼働率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	36.3	37.4	38.5	39.6	・体育施設等維持管理事業
実績値		29.7	42.7	42.8	64.5		
達成率		—	117.6	114.4	167.5		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	各加盟競技団体(屋外競技)が行う市民スポーツ祭やその他大会を、蘇南多目的グラウンドなど屋外スポーツ施設で実施した。						
市役所	市民スポーツ祭などの情報を、広報こうなん等に掲載して啓発に努めた。また、スポーツ人口を増やすため、会員募集などの情報も広報こうなん等に掲載して啓発に努めた。						

指標名		コミュニティ・スポーツ祭の参加者数					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	7,000	7,000	7,000	7,000	・各種スポーツ大会開催事業
実績値		5,289	6,439	6,215	6,560		
達成率		—	92.0	88.8	93.7		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市内10小学校区で開催されたコミュニティ・スポーツ祭に参加した。						
市役所	コミュニティ・スポーツ祭の情報を、広報こうなん等に掲載するなど啓発に努めた。						




目標達成のための今後の展開方針




屋内施設は、引き続き既存施設の整備を図り、安心・安全な施設運営を行う。
 また、新体育館建設においては関係機関と連絡・調整を図り建設工事を進めていく。
 屋外施設は、公園敷地内に多く点在するため、まちづくり課とも連携・協力しながら整備を進めていく。
 コミュニティ・スポーツ祭については、多くの人に参加していただけるように種目やPR方法などの改善を図る。
 平成29年度設立の総合型スポーツクラブについては、自主運営ができるよう支援を行う。


個別目標に対するまちづくり評価

市民が身近に参加できるスポーツ大会であるコミュニティ・スポーツ祭に多くの市民が参加し、地域の交流ができたことや、屋内・屋外施設についての稼働率が目標値を上回っていることは評価できる。一方で、施設の老朽化が進んでおり、安心・安全で快適な施設が利用できるよう、新体育館開館に向けて関係機関としっかり連携を図り事業を進めていただきたい。

個別目標③ 男女が社会のあらゆる分野で対等なパートナーとして参画し、共にその責任を分かち合っている

指標名 審議会などにおける女性委員の登用率							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	30.0	30.0	30.0	30.0	・男女共同参画推進事業
実績値		18.4	27.7	26.2	22.4		
達成率		—	92.3	87.3	74.7		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市が主催する委員会等の委員に公募した。						
市役所	各課に対し、審議会等の委員の改選期には女性委員の登用率が全体の30%以上になるように、積極的な登用を依頼した。 職員の男女共同参画への理解のため、研修会を実施した。						

指標名 男女共同参画講演会やセミナーなどへの参加割合							
	単位	H17 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	90.0	90.0	90.0	90.0	・男女共同参画推進事業
実績値		60.5	93.0	82.8	93.9		
達成率		—	103.3	92.0	104.3		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	男女共同参画について、理解を深める講演会等に参加した。 講演会参加の折、男女共同参画都市宣言を唱和した。						
市役所	広報こうなんや市ホームページに男女共同参画についての記事を掲載し啓発に努めた。男女共同参画に関するパンフレットを作成し、市内中学校及びセミナー等の折に配布した。						

指標名	男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野(家庭,地域,職場)で活躍できていると感じる市民の割合						
	単位	H22 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	45.0	46.0	47.0	48.0	・男女共同参画推進事業
実績値		30.8	—	—	—	40.7	
達成率		—	—	—	—	84.8	
達成状況	—	—	—	—	—		
取り組みの状況							
市民	固定的役割分担意識に捉われず、あらゆる分野で活躍している。						
市役所	広報こうなんや市ホームページに男女共同参画についての記事を掲載し啓発に努めた。						

目標達成のための今後の展開方針

職員に対し、研修等を行い男女共同参画社会の推進について、より一層理解を深める。
 市民に対し、男女共同参画社会をわかりやすく理解してもらうため、講師の選定・テーマ等を各市町と情報交換しながら身近に感じる講座を開催する。
 男女共同参画社会を実現するため、お互いに協力し家庭において家事や育児を分担し合うことにより、より充実した生活が送れるようになることを市民へ啓発する。

個別目標に対するまちづくり評価

男女共同参画基本計画に基づき、市民と協働で男女共同参画の実現に向けて取り組んでいただきたい。
 男女共同参画社会を推進することは、男女が対等なパートナーとして認め合う社会をつくることであり、地域の活性化につながると考えられます。
 これからも、市民に親しみのあるセミナー、講座を開催していただき、啓発に努めていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

生涯学習講演会・IT講習会・公開講演会・乳幼児学級等を開催し、市民のニーズに応えることができた。高齢者教室の会員数も、引き続き行った広報こうなん等によるPRIにより、参加人数が昨年と同程度となった。
 また、公民館で実施した生涯学習講座では、若い世代の方にも関心を引く内容を実施することにより、世代を通じた参加につながった。

◆柱全体の今後の課題

高齢者の増加に伴い、「健康・生きがい・仲間づくり」をテーマに実施している高齢者教室の会員を引き続き募集するとともに、高齢者の生きがいづくりの場として、生涯学習講座や図書館事業を有効活用していく必要がある。
 また、若者や勤労世代でも参加できるような講座内容や実施日を考慮しながら企画していく必要がある。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

公民館で実施する生涯学習講座、図書館事業等の開催にあたり、多くの若者や勤労世代、高齢者に参加してもらえるような講座内容を考える。


まちづくり評価シート

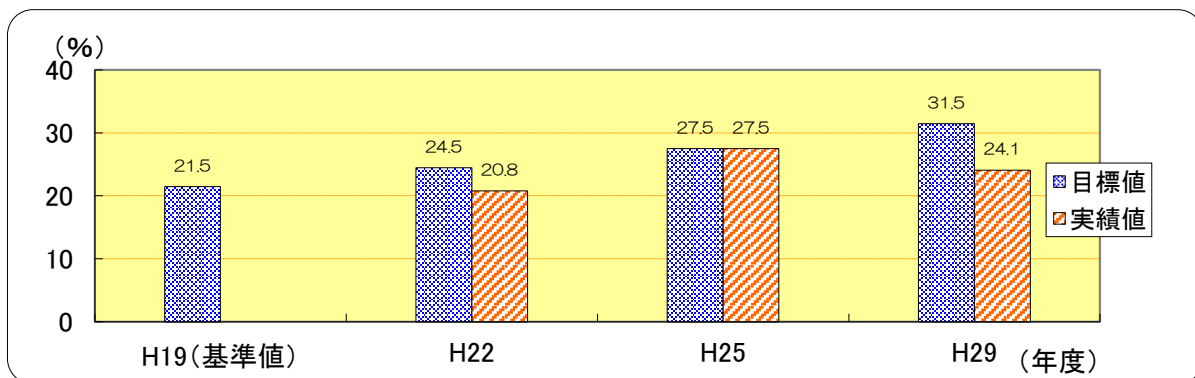
教育部【担う分野:Ⅳ 教育分野】

生涯学習課【担う柱:4 豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実】

◆まちづくり（成果目標）の達成状況

全体目標 市民の文化活動や国内外の交流活動が活発に行われ、心豊かな生活を送っている

指標名	文化活動や交流活動により、心豊かな生活を送っていると感じる市民の割合			実績値の分析
	単位	H19 (基準値)	H29	
目標値	%	—	31.5	達成率は76.5%で概ね達成できた。文化活動や交流活動への参加者は高齢者が多く、若者や労働者層は仕事や子育て中心の生活により、文化活動や交流活動に参加できていないと考えられる。
実績値		21.5	24.1	
達成率	—	—	76.5	
達成状況	—	—		



全体目標に対するまちづくり評価




文化芸術活動を行っている市民の割合について、前回の平成25年度では目標が達成できていたが、平成29年度の実績では実績値が目標値を下回っている。市民が文化芸術活動や交流活動に興味をもち、心豊かな生活を送っていけるように、事業の展開を図っていただきたい。




個別目標① 市民が文化芸術活動を積極的に行っている

指標名	文化芸術活動を行っている市民の割合						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	%	—	1.5	1.5	1.6	1.7	・文化振興事業 ・文化協会事業
実績値		1.3	1.0	0.9	0.9		
達成率		—	—	66.7	60.0	56.3	
達成状況	—	—	↑	↑	↑		

取り組みの状況




市民	市の主催する「教養講座」へ参加した。 文化協会主催の「文化祭」に参加した。
市役所	「教養講座」として、民謡講習会、歴史講演会、美術館めぐりなどを開催した。 文化協会主催の「文化祭」の開催を支援した。




指標名		市民文化会館の稼働率					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	%	—	53.8	55.1	56.4	57.8	市民文化会館管理運営事業
実績値		47.8	54.1	57.7	55.2		
達成率		—	100.6	104.7	97.9		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市民文化会館の指定管理者が企画する自主文化事業に参加した。また、会議や作品展示、芸術活動のため、会議室や大・小ホールを利用した。						
市役所	市民が安心して市民文化会館を利用するため、アンケートをとり、意見や要望を把握した。また、運営委員会を開催し、指定管理者と事業内容などについて協議を行った。21年度よりモニタリングを実施し、自己評価をしつつ、市民サービスの向上を図った。						




指標名		美術展出品者数					
	単位	H21 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	260	270	280	300	美術展事業
実績値		224	222	221	239		
達成率		—	85.4	81.9	85.4		
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市が主催する美術展に作品を出品した。						
市役所	美術展を開催し、市民から作品を募集することで、市民の美術・芸術作品への創作意欲や関心が高まるよう事業を展開した。						

目標達成のための今後の展開方針	
文化協会の加盟団体、会員の増加を図るため、市民文化会館や公民館利用者へ加入を促す。市民文化会館の運営では、モニタリング、運営委員会等を通じて指定管理者と情報を共有し、運営の改善を図る。	

個別目標に対するまちづくり評価	
市民が芸術文化事業に関心をもつためには、市が美術展や講演会、セミナーや教養講座など多種多様のイベントを開催するとともに、PR活動を積極的に実施していただきたい。 また、市民にとって活動拠点である市民文化会館が、さらなる芸術文化の振興拠点となるような事業展開をしていただきたい。その一環として、市民文化会館大・小ホールの利用方法や市民文化会館の自主文化事業のPR活動を積極的に行うなどし、市民サービスの向上を図っていただきたい。	

指標名		指定登録文化財の数【国】					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・文化財保護事業
目標値	件	—	5	5	5	5	
実績値		5	5	5	5		
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	管理者は国指定文化財の価値を損なうことなく保存及び管理に努めた。						
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護、育成に努めた。						

指標名		指定登録文化財の数【県】					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・文化財保護事業
目標値	件	—	9	9	9	9	
実績値		9	9	9	9		
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	管理者は県指定文化財の価値を損なうことなく保存及び管理に努めた。						
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護、育成に努めた。						

指標名		指定登録文化財の数【市】					
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業 ・文化財保護事業
目標値	件	—	92	92	93	94	
実績値		92	94	95	95		
達成率		%	—	102.2	103.3	102.2	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	管理者は市指定文化財を損なうことなく保存及び管理に努めた。						
市役所	管理者に対し文化財保護助成金を交付し、文化財の保護、育成に努めた。						

指標名 登録有形文化財の数【登録】							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	件	—	3	3	3	3	・文化財保護事業
実績値		2	3	3	3		
達成率		%	—	100.0	100.0	100.0	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	管理者は登録有形文化財の価値を損なうことなく保存及び管理に努めた。						
市役所	管理者に対し、登録有形文化財の保存、管理に努めるよう依頼した。						

指標名 文化財普及事業への参加者数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	12,000	12,000	12,000	12,000	・歴史民俗資料館事業 ・文化財保護事業
実績値		5,647	12,895	12,855	13,699		
達成率		%	—	107.5	107.1	114.2	
達成状況	—	—					
取り組みの状況							
市民	市が主催する歴史民俗資料館の企画展の参加や、常設展示している歴史民俗資料館を参観した。 また、歴史に関連する講座に参加し、郷土の歴史への愛着と理解が深まった。						
市役所	多くの市民が、歴史民俗資料館の展示物や文化財に関心をもっていたり、各種企画展を開催した。また、中学生に向けて、江南の歴史や文化財に対する関心が深まるよう、歴史教室を開催した。						




目標達成のための今後の展開方針	
<p>国指定重要文化財の曼陀羅寺正堂の栓皮葺屋根改修工事について、国・県と併せて支援していく。 郷土の歴史では、戦国武将関連への市民の関心が依然として高く、郷土の歴史関連セミナーを開催していく。 歴史民俗資料館での企画展を多くの市民に観てもらえるようにPRしていく。</p>	

個別目標に対するまちづくり評価	
<p>江南市は、古代には音楽寺遺跡、戦国時代には生駒家関連史跡、そして曼陀羅寺など文化財が豊富なまちである。 指定文化財の積極的なPRを行っていただきたい。併せて「文化財めぐり」などの事業を市が企画することも効果的であると思われる。 また、歴史民俗資料館で行う企画展に足を運んでいただくよう積極的にPRを行っていただきたい。</p>	




個別目標③ 世界平和の重要性が認識され、在住外国人も安心して暮らしている

指標名 江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する外国人の数							
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	主な事務事業
目標値	人	—	360	400	450	500	・国際交流推進事業 ・多文化共生推進事業
実績値		220	583	754	869		
達成率		%	—	161.9	188.5	193.1	
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	市及び江南市国際交流協会が主催する国際交流事業に参加した。
市役所	さまざまな国籍の市民が共存する多文化共生社会を構築するため、国際交流フェスティバルや国際理解講座、外国の料理教室などを市と江南市国際交流協会が連携して開催した。

指標名	江南市国際交流協会の事業(多文化共生事業)に参加する日本人の数						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	人	—	5,600	5,900	6,200	6,500	・国際交流推進事業 ・多文化共生推進事業
実績値		1,800	5,887	5,939	5,915		
達成率	%	—	105.1	100.7	95.4		
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	市及び江南市国際交流協会が主催する国際交流事業に参加した。
市役所	さまざまな国籍の市民が共存する多文化共生社会を構築するため、国際交流フェスティバルや国際理解講座、外国の料理教室などを市と江南市国際交流協会が連携して開催した。

指標名	世界平和を願うパネル展の来場者数						主な事務事業
	単位	H18 (基準値)	H26	H27	H28	H29	
目標値	人	—	1,400	1,430	1,460	1,500	・世界平和・国際協力推進事業
実績値		1,198	1,134	1,194	1,350		
達成率	%	—	81.0	83.5	92.5		
達成状況	—	—					

取り組みの状況	
市民	市が主催する世界平和を願うパネル展に参加した。
市役所	平和の尊さ、原爆の悲惨さを広く市民に啓発するため、市民文化会館・市役所・すいとびあ江南口ビーにおいてパネル展を開催するとともに、市立全中学校でパネル展を開催した。

目標達成のための今後の展開方針
外国人の児童が多く通学している藤里小学校の余裕教室を国際交流ルームとして、言葉の壁や習慣の違いで戸惑っている外国人の子どもを対象とした日本語教室等の支援活動を、ふくらの家とともに実施する。また、日本語学習や子どもの学習支援などの事業に多くの外国人が参加できるよう、国際交流協会の活動を支援していく。

個別目標に対するまちづくり評価
定住化が進む外国人に対し、市は江南市国際交流協会と密接に連携し、生活相談や日本語教室の開設など、定住外国人の目線に沿ったきめ細かい支援活動を行っていただきたい。また、国際平和の実現には国際交流を深め国際協力の推進を図るとともに、戦争の悲惨さや世界平和の重要性を市民に啓発することが必要と思われる。今後も、次代を担う市内小中学生が戦争の悲惨さを学び、平和の大切さを理解できるよう、パネル展などを通して平和教育の推進を行っていただきたい。

柱全体のまちづくり評価

◆柱全体の得られた成果

近年の社会環境の変化などで、余暇の時間の過ごし方を有効利用しようと関心をもつ年代層(市民)に対し、心豊かな生活を送れるよう、文化芸術活動や交流活動の場を提供した。また、文化財保護の観点から、指定文化財を増やしたことで、市内各地区の文化財的財産を市民自ら保護しようとする傾向が見受けられた。

◆柱全体の今後の課題

市民の高齢化が進み就労の機会がない世代に加え、仕事や子育て、介護等に追われる世代にも文化芸術活動や交流活動を通じて、心豊かな生活を送っていると感じるような事業の展開を図っていく必要がある。また、これからも、市民や次世代を担う中学生に世界平和に向けた啓発をしていくことが重要である。

◆柱全体の今後の取り組みの方向性

多様化する市民のニーズを的確にとらえ、誰でも心豊かな生活を送っていると感じるような文化芸術活動や交流活動事業の展開を図っていく。また、戦争の悲惨さ、平和の尊さを次世代に伝えていくため引き続き世界平和に向けた啓発を実施していく。